

# 一徳通信

井上一徳舞鶴事務所 FAX 0773-62-1015

衆議院議員

いのうえ かずのり

井上一徳

No21



●福知山市の消防出初式へ。福知山市消防団は本年3月に全国の消防団の最高の栄誉である『特別表彰まとい』を受章されることが決まりました。誠におめでとうございます。



●舞鶴市消防出初式。消防本部・消防団の分列行進に続いて一斉放水。飛沫に虹が現れ、華やかな一斉放水になりました。地域防災の最前線として本年もよろしくお願い致します。



●綾部青年会議所の新年式典・懇親会に出席させて頂きました。本年のスローガンは「夢 希望 感動」。郷土愛に満ちた日々の活動は地域の活力の源です。本年もますますご活躍下さい。

●舞鶴商工会議所の新年互礼会。「ラスト・サムライ」で有名なジョー岡田さんと一緒に。笑顔抜群、挙措動作に隙なしの御年90歳。今なお現役の国家通訳案内士として活躍中です。



●ウガンダやブータン、モンゴルなどの発展途上国に派遣されていた青年海外協力隊、シニア海外ボランティア62名の方々が約2年間の任期を終えて元気に帰国されました。本当にお疲れ様でした。皆さんの活動は確実に日本の評価を高めています。海外での素晴らしい経験を活かしてさらに活躍されることを心から願っています。

韓国海軍艦艇による火器管制レーダー照射事案

【事案概要】  
○昨年12月20日午後3時頃、能登半島沖において、警戒監視中の海上自衛隊第4航空特科隊P-1哨戒機(厚木)が、韓国海軍「クサンナム・デフン」艦砲実演から久々登陸レーダーの照射を受けた。

【詳報】  
○火器射撃レーダーの照射は、基本的に、火器の使用に先立って実施する行為であり、これを相手に照射することは不測の事態を招きかねない危険な行為。

【経緯】  
○21日に韓国側に砲弾を発射するとともに、防衛省から本件について公表(1回目)(3回)。  
○22日にも韓国側に改めて射撃を実施して再発防止を強く求めるとともに、韓国側の種々の報道を踏まえ、本件に関する防衛省の見解について公表(2回目)(2回)。  
○24日、韓国国防部の会見において、練習射撃が誤射を公表(3回)。  
○25日、防衛省から改めて本件に関する見解について公表(3回目)(4回)。

クサンナム・デフン級駆逐艦(971)

◆1月14日にレーダー照射事案について日韓の防衛当局がシンガポールで直接協議を行ったことに関して防衛省から説明を受けました。

本件については、海上自衛隊は通常の警戒監視活動を整齊と行っていたもので韓国側から非難されるような行動は見当たりません。

日韓の関係者でレーダー照射の事実関係を徹底的に調査することが第一であり、韓国側が問題をすり替えて日本側に謝罪を求めたり協議で日本側が無理な要求を求めたと発表したり、あまりにも常軌を逸しています。こうした事案を二度と起こさないためにも曖昧にしておくべきではありません。

日本と韓国はGSOMIAという秘密軍事情報を両国間で保護する協定を結んでおり、お互いが保有するデータを詳細に照らし合わせれば事実関係は明らかになるはずです。韓国側はレーダー照射を行ったのか否かという問題の本質に真正面から向きあうべきです。